

横暖ルーフα

工法

重ね葺き

既存屋根材

セメント系新生瓦
アスファルトシングル

4) 軒先部

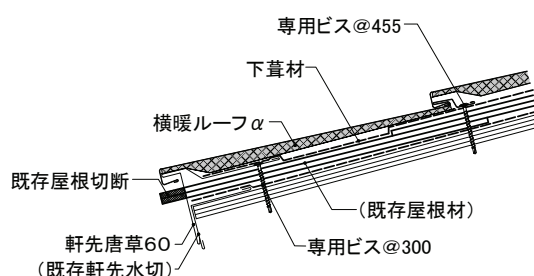
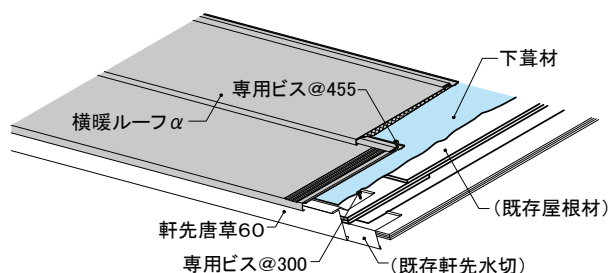
① 軒先唐草60

●既存屋根材の軒先が揃うように既存屋根材を切断します。

※軒先面を切断せず施工することも可能ですが、その場合、既存雨樋の取付位置を横暖ルーフαにあわせて移動させる施工が別途必要となります。

●軒先唐草60は専用ビス(ステンレスドリルビスφ4.4mm×55mm)を用いて、300mm以下の間隔で野地板に留め付けます。

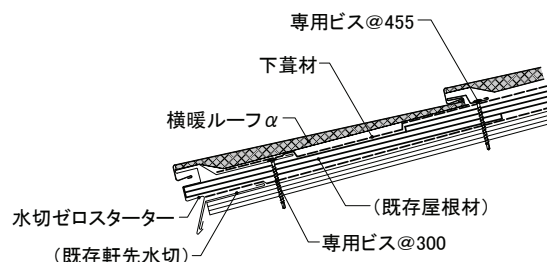
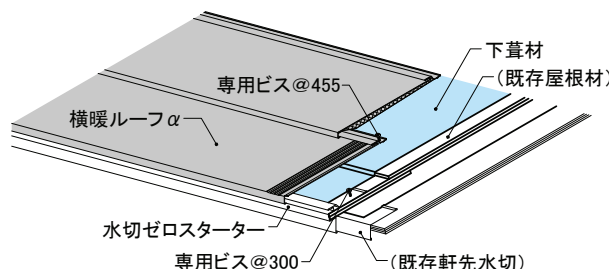
●図のように下葺材を張り、横暖ルーフαは軒側実を軒先唐草60に差し込み、棟側実を専用ビス(ステンレスドリルビスφ4.4mm×55mm)を用いて、455mm以下の間隔で垂木に留め付けます。



② 水切ゼロスターター

●既存屋根材の軒先に水切ゼロスターターを差し込み、専用ビス(ステンレスドリルビスφ4.4mm×55mm)を用いて、300mm以下の間隔で野地板に留め付けます。

●図のように下葺材を張り、横暖ルーフαは軒側実を水切ゼロスターターに差し込み、棟側実を専用ビス(ステンレスドリルビスφ4.4mm×55mm)を用いて、455mm以下の間隔で垂木に留め付けます。



③ セットバックスターター

●既存屋根材の軒先にセットバックスターターを差し込み、専用ビス(ステンレスドリルビスφ4.4mm×55mm)を用いて、300mm以下の間隔で野地板に留め付けます。

●図のように下葺材を張り、横暖ルーフαは軒側実をセットバックスターターに差し込み、棟側実を専用ビス(ステンレスドリルビスφ4.4mm×55mm)を用いて、455mm以下の間隔で垂木に留め付けます。

※セットバックスターターを使用する場合は、けらば包み60、けらば水切110(85)をご使用ください。

